

令和 6 年度 年間授業計画 教科 芸術 科目 書道 I

教科 : 芸術

科目 : 書道 I

単位数 : 2 単位

対象学年組 : 第 1 学年

教科担当者 :	1・2組 宮本弘	3・4組 宮本弘	5・6組 宮本弘					
使用教科書 :	書道 I (教育出版) 副教材 : 「神龍半印本で学ぶ手本蘭亭序」 (教育図書)							

教科 芸術 の目標 :

【知識及び技能】	書の表現の方法や形式、書表現の多様性について、書の創造的活動を通して理解を深める。書の伝統に基づき作品を効果的に表現するために必要な技術を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し、個性豊かな表現を工夫したり、伝統と文化の意味や価値を考える。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道 I の目標 :

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式を幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身につける。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し、表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができる。	書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書を通して豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配当時数
		漢	仮	鑑賞					
単元 1 書の美を求めて	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	4
	【知識及び技能】 ・指導事項				【知識及び技能】				
	書の伝統と文化を知り、深く味わう。				①用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解している。				
	文房四宝 用具・用材について				【思考力・判断力・表現力】				
	【思考力、判断力、表現力】 ・教材				①用具・用材から表現性の相互関連を理解している。				
	創造的な表現をするための書の美を味わう。				【学びに向かう力、人間性等】				
	筆・墨・硯・紙				①様々な用具・用材による多様な書の美の表現の広がり、効果の違いについて理解している。				
	【学びに向かう力、人間性等】 ・一人 1 台端末の活用 (場面)				【単元 2 書の世界】				
	芸術を愛好する心情を育む。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	まなびリンク				【知識及び技能】				
定期考査 (第 1 学期中期考査) /返却と解説	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	①中学校国語科の書写での学習を振り返り、書写から書道への広がりを理解している。	○	○	○	4
	【知識及び技能】 ・指導事項				【思考力・判断力・表現力】				
	書の伝統と文化を知り、それに基づいて必要な技能を身につける。				①書や文字の意味や価値・表現の効果について、芸術家の視点から考えている。				
	姿勢・執筆 古典の学び方				【学びに向かう力、人間性等】				
	【思考力、判断力、表現力】 ・教材				①生活の中で学習を活かしていくことに積極的に取り組んでいる。				
	創造的な表現をするための書の美を味わう。				【単元 3 漢字の書の学習】				
	教科書				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【学びに向かう力、人間性等】 ・一人 1 台端末の活用 (場面)				【知識及び技能】				
	芸術を愛好する心情を育む。				①書の表現の多様性に気付き、既得の知識を再確認している。				
	まなびリンク				【思考力・判断力・表現力】				
定期考査 (第 1 学期末考査) /返却と解説	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	①生活や社会における書の効用について考え、味わっている。	○	○	○	4
	【知識及び技能】 ・指導事項				【学びに向かう力、人間性等】				
	書体の変遷 拓本と碑について				①主体的に学習に取り組んでいる。				
	【思考力、判断力、表現力】 ・教材				【単元 4 楷書の学習】				
	意図に基づいた表現について構想し、工夫する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	教科書				【知識及び技能】				
	【学びに向かう力、人間性等】 ・一人 1 台端末の活用 (場面)				①名筆による書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。				
	まなびリンク				【思考力・判断力・表現力】				
	主体制的に漢字の書の幅広い表現活動に取り組む。				①線質、字形、構成などの要素と、風趣について理解している。				
	【単元 5 楷書の学習】				【学びに向かう力、人間性等】				
定期考査 (第 1 学期末考査) /返却と解説	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	①反復的な活動の積み重ねによって学習を深めていくとしている。	○	○	○	4
	【知識及び技能】 ・指導事項				【単元 6 書の世界】				
	唐の四大家 書風の分析				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【思考力、判断力、表現力】 ・教材				【知識及び技能】				
	古典の書体や書風に即した表現について構想し、工夫する。				①書の表現の多様性に気付き、既得の知識を再確認している。				
	教科書 九成宮醴泉銘 孔子廟堂碑				【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】 ・一人 1 台端末の活用 (場面)				①生活や社会における書の効用について考え、味わっている。				
	まなびリンク 比較と分析				【学びに向かう力、人間性等】				
	主体制的に漢字の書の幅広い表現活動に取り組む。				①反復的な活動の積み重ねによって学習を深めていくとしている。				
	定期考査 (第 1 学期末考査) /返却と解説				【単元 7 書の世界】				

令和 6 年度 年間授業計画 教科 芸術 科目 書道 I

教科 : 芸術

科目 : 書道 I

単位数 : 2 単位

対象学年組 : 第 1 学年

教科担当者 :	1・2組 宮本弘	3・4組 宮本弘	5・6組 宮本弘					
使用教科書 :	書道 I (教育出版) 副教材 : 「神龍半印本で学ぶ手本蘭亭序」 (教育図書)							

教科 芸術 の目標 :

【知識及び技能】	書の表現の方法や形式、書表現の多様性について、書の創造的活動を通して理解を深める。書の伝統に基づき作品を効果的に表現するために必要な技術を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し、個性豊かな表現を工夫したり、伝統と文化の意味や価値を考える。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道 I の目標 :

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式を幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身につける。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し、表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができる。	書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書を通して豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配当時数
		漢	仮	鑑賞					
2 学期	単元 5 行書の学習	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	【知識及び技能】	・指導事項			【知識及び技能】				
	日本及び中国の文字と書の伝統と文化について理解する。	様々な行書の特徴			①速書きに適し、読みやすいことから日常生活にも使用される行書の書体をわかっている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材			【思考力・判断力・表現力】				
	名筆や古典作品の鑑賞を通して書の伝統文化を味わう。	教科書 図版			①筆使いや文字の造形の違いを理解し、表現することができる。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)			【学びに向かう力、人間性等】				
	調和や風趣を考えながら表現効果を意識する。	鑑賞ガイド 動画			①楷書と比較した点画の変化や連続性、省略性について理解している。				
	単元 6 王羲之と蘭亭序	指導項目に対し、次の教材等を活用する。			次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項			【知識及び技能】				
	時間性と運動性、運動性と空間性を理解する。	行書の特徴 楷書との比較			①行書が楷書と草書の中間にあることを再確認している。				
定期考査	単元 7 唐の太宗と蘭亭序	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	8
	【知識及び技能】	・指導事項			①正しさ、読みやすさ、速さなど形の多様性を兼ね備えた書体を習得している。				
	線質、字形等の構成要素を理解する。	行書の特徴 楷書との比較			【学びに向かう力、人間性等】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材			①課題を完成させ、これを土台にして行書の書風を味わうようにしている。				
	臨書で扱った表現活動を理解し、それを表現する。	教科書 図版							
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)							
	主体的に行書の表現の学習活動に取り組む。	まなびリンク 動画							
	定期考査(第2学期中期中間考査)/返却と解説								
	単元 7 唐の太宗と蘭亭序	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	8
	【知識及び技能】	・指導事項			【知識及び技能】				
	線質、字形等の構成要素を理解する。	二十の「之」字と豊かな表現力			①一つも同じ表現がなく、書風が違うことを感じ取り、臨書できる。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材			【思考力・判断力・表現力】				
	普遍的価値について考え、書のよさや美しさを味わう。	卷物(神龍半印本) 副教材			①前後の文字との関係から、字形が変化していくことを理解している。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)			【学びに向かう力、人間性等】				
	主体的に創造的な鑑賞に取り組む。	鑑賞ガイド			①反復的な活動の積み重ねによって学習を深めていくとしている。				
	単元 8 仮名の書の学習	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	8
	【知識及び技能】	・指導事項			【知識及び技能】				
	仮名の書、漢字仮名交じりの書の特質と歴史について理解する。	仮名の成立 基本筆使い			①名筆や現代の書の表現を通して、美しさを感じ取れる技能が身についている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材			【思考力・判断力・表現力】				
	生活や社会における仮名の美的効用を考え、味わう。	教科書			①これまでの作品と、鑑賞した作品を見直してヒントを探すことができる。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)			【学びに向かう力、人間性等】				
	主体的に創造的な鑑賞に取り組む。	発表			①自身の取組を振り返りながら作品を表現しようとしている。				
	定期考査(第2学期期末考査)/返却と解説								

令和 6 年度 年間授業計画 教科 芸術 科目 書道 I

教科 : 芸術

科目 : 書道 I

単位数 : 2 単位

対象学年組 : 第 1 学年

教科担当者 :	1・2組 宮本弘	3・4組 宮本弘	5・6組 宮本弘					
使用教科書 :	書道 I (教育出版) 副教材 : 「神龍半印本で学ぶ手本蘭亭序」 (教育図書)							

教科 芸術 の目標 :

【知識及び技能】	書の表現の方法や形式、書表現の多様性について、書の創造的活動を通して理解を深める。書の伝統に基づき作品を効果的に表現するために必要な技術を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し、個性豊かな表現を工夫したり、伝統と文化の意味や価値を考える。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道 I の目標 :

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式を幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身につける。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し、表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができる。	書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書を通して豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

学 期 3	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			漢	仮	鑑賞					
単元 9 仮名の世界	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 【知識及び技能】 ・指導事項	連錦と単体、線質や字形を生かして技能を身につける。 変体仮名と連綿	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 ①仮名一字単体が身についている。	○	○	○	4
単元 10 高野切第三種の鑑賞と臨書	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 【知識及び技能】 ・指導事項	古典に基づく基本的な用筆・運筆を身につける。 古典仮名の鑑賞と臨書	○	○	○	①名筆による書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ①古筆、名跡に接し、知識及び技能を身につけている。	○	○	○	4
単元 11 漢字仮名交じりの書	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 【知識及び技能】 ・指導事項	目的や用途、表現形式に応じた全体構成を工夫する。 身のまわりの書	○	○	○	①幅広い作品に接し、鑑賞をする中でその目的や用途を理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ①作品の書の伝統と文化の意味や価値を理解して表現することができる。	○	○	○	8
単元 12 硬筆	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 【知識及び技能】 ・指導事項	方法や形式、書の表現について理解する。 書式の教室	○	○	○	①書き能力を向上させるとともに、基礎的な技能を身につけています。 【思考力・判断力・表現力】 ①意図に基づいて構想し、表現を工夫することができる。	○	○	○	4
定期考査(学年末考査) /返却と解説						①自身の取組を振り返りながら作品を表現しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ①作品の制作や表現などの多様な活動を取り入れ、自身の進歩を評価している。				